

各委員意見集約

1. 施策別の取組状況、分析・評価及び今後の方向性

【目標Ⅰ 自ら学ぶ意欲をもって、主体的に社会に関わり、新しい時代を生きる力を育てる】

基本方針1 新しい社会で生きる力の育成(原案10～16ページ)

No	委員	意見等	担当	回答等
1	清水委員	施策1「確かな学力の育成」のために教員が「目標」に対する「具体策」を明確化し、確実・着実に実践することが重要であると考えます。	指導主事	各校では、学力調査等の結果を踏まえ、学力向上の取組の目標や具体的方策を「学校改善プラン」にまとめています。そのプランの内容をすべての教職員が確実に共有し、日常の授業実践で具現化できるよう校長会・教頭会を通じて指導していきます。
2	清水委員	施策1(2)「深い学び」を達成するための授業改善は教員個々人の創意工夫や授業研究等で切磋琢磨することを期待します。	指導主事	各校では、「主体的・対話的で深い学び」を校内研究テーマに位置付け、組織的・協働的に授業の検証と改善に取り組んでいます。市教委としても、各校の好事例を積極的に発信することで、より一層の授業改善を推進していきます。
3	朝倉委員	施策1(2) 教員のための各種研修・指導が、教員自身にとっての「主体的・対話的で深い学び」の経験となることを期待します。	指導主事	各校の校内研究をはじめ、教職員の自主的な研究組織である石教振や石教研の活動では、授業実践を基盤にした熟議による研修会を年に複数回実施しており、教師自ら主体的に学ぶ姿が子どもたちのロールモデルとなるよう取り組んでいます。
4	高嶋委員	施策1(2)【質問】「子どもが主体となる学び」の実現に向けて「具体的な視点」は示されていますが、現在の学校現場や授業の課題はどのような点にありそうでしょうか？	指導主事	授業改善は進んでいるものの、教師の説明が長く、子どもが受け身になる時間の多い授業も散見されます。教職員の授業観を転換し、すべての学級において、子どもが自律的に学びを調整しながら主体的に学習する授業が展開されるよう改善に取り組めます。
5	清水委員	施策1(7)「家庭学習の取り組み方」は児童生徒個々との対面指導も必要と考えます。	指導主事	家庭とも連携しながら、個々の状況に応じた適切な指導を行えるよう工夫していきます。
6	高嶋委員	施策2(3)【意見】「教員等からの自発的な要望」に応えた研修に実施を高く評価します。特別支援教育に限らず、教職員の要望の発信を促しながら研修などの学びと交流の機会が充実していくことを期待します。	教育支援課	今回の研修は、在籍児童生徒に行う知能検査(WISC)がバージョンアップされ、以前の検査方法と結果の出し方に一部の違いがあり、その違いについて研修したいと要望があったため実施しました。特別支援教育以外にも要望があれば可能な限り実施いたします。
7	高嶋委員	施策2成果指標No.2:【質問】研修受講者の延べ人数について、教員の人数が減り、特別支援コーディネーターの人数が増えている背景要因としてどのようなことが考えられるでしょうか？	教育支援課	特別支援コーディネーター(CN)を複数指名する学校が増え 全体的に指名されているCN数が増えています。CNは特別支援学級を担当する教員が指名されることが多いため、教員とカウントせずCNとして集計をしていることが要因と認識しています。
8	朝倉委員	施策3 行事や特別活動、ICTを活用した発信などを通じ、外国語を使う場面の創出を含めた実践的指導力向上を期待します。	指導主事	教職員の英語の実践的指導力については、授業研究を基盤とする研修会を中心としながら向上を図っていきます。また、児童生徒の英語力向上については、ALTによる生きた英語を学ぶ機会をはじめ、実践的に英語を使う場面の設定を工夫していきます。
9	高嶋委員	施策3:【意見】今年度から導入が進んでいる外国語(英語)のデジタル教科書の効果的な活用についても取り組みが進んでいくことを期待します。	学校教育課 指導主事	今後も効果的な活用が図られるように、授業における活用の好事例の発信などに取り組みます。
10	清水委員	施策5(3) 電子機器活用の教育効果は大きいと考えます。教員の電子機器の効果的な活用指導力の更なる向上に期待します。	学校教育課 指導主事	今後も、石狩市ICT教育推進プロジェクト会議などを通じた好事例の発信・共有や、実技研修会の実施などにより、ICT機器活用指導力の向上を図ります。
11	朝倉委員	施策5 情報教育を促進するための環境整備や研修等の取り組みに対して評価すると共に、活用の質向上や「主体的・対話的で深い学び」に向かう横断的で連続的な活用に対する成果が明らかになることを期待します。	学校教育課 指導主事	今後、探究的な学習などの中で、子どもの主体的・自律的な学びの道具としてICT機器の活用が進むように、授業改善やカリキュラム・マネジメントに取り組み、検証・改善を行います。

基本方針2 学びを支える家庭・地域との連携・協働の推進(原案17～19ページ)

No	委員	意見等	担当	回答等
1	清水委員	施策8「家庭学習習慣化」に向けた取組は様々行われていると思いますが「実績」「効果」が表れているとは言い切れないと感じます。取組の更なる工夫が必要と考えます。	指導主事	Aiドリルの導入に合わせて、保護者にその効果や取組状況の確認方法を研修会で説明し、成果を上げている学校もあります。即効性のある取組は難しいですが、家庭と連携した取組の更なる充実を図っていきます。
2	朝倉委員	施策8 放課後児童クラブ等での学習支援を促進するため、学校と横断的にICT機器を活用できる環境整備、職員等の研修を進めていくことが重要だと考えます。	子ども政策課 学校教育課	(子ども政策課) 放課後児童クラブ等での学習支援を促進するため、教育委員会等と連携し、ICT機器の活用も含め検討していきます。 (学校教育課) 関係課と協議のうえ、更なる環境の充実を図っていきます。

3	高嶋委員	施策8(3)と施策1(7):【意見】引き続きAIDリルの効果的な活用方法の共有や意見交換を通して、AIDリルが児童生徒の日々の学習に浸透していくことを期待します。あわせて、様々な不利や困難を抱えている児童生徒の状況に配慮して、家庭学習を家族の責任にばかりするのではなく地域社会全体で支えていく体制が構築されることを期待します。	指導主事	AIDリルにつきましては、成果や課題を整理しながら、今後も積極的な活用を推進していきます。家庭学習の充実につきましては、放課後の学習支援などの方法も含め、個々の状況に応じた学びの場の保障について検討していきます。
4	清水委員	施策10 幼児児童生徒の学びを支える上からも、学校・家庭・地域が連携・協働して育てることの取組の更なる工夫が必要と考えます。	総務企画課 社会教育課	(総務企画課) コミュニティ・スクールにおいて、学校と地域が連携し、特色ある取組が行われることで児童生徒の学びに繋がるよう、各コミュニティ・スクール間の情報共有を促し、好事例の横展開を図っていきます。 (社会教育課) 「家庭・学校・地域が連携・協働して育てること」の意義を深め、共有するための研修機会や情報提供に取り組んでまいります。
5	朝倉委員	施策10 特に中学生の興味関心が学びにつながるような地域課題への取り組みや、中学生と地域の人が年齢に関わらず共に学ぶ機会の創出など、なお一層の工夫を期待します。	総務企画課 社会教育課	(総務企画課) 中学生が地域に興味関心を持ち、地域と関わりを持てるよう、コミュニティ・スクールにおいて、課題認識を共有し、好事例の横展開を図ってまいります。 (社会教育課) 地域学校協働活動を推進するため、地域及び学校関係者を対象とした研修機会や情報交換の場を設定し、地域全体で子ども達の学びや成長を支える取り組みを進めてまいります。
6	高嶋委員	施策10:【意見】地域コーディネーターが学校と地域の仲介役を超えて、中学生や高校生が地域に出て活躍できるような企画や機会を地域団体と連携しながら積極的に創出していくことで、生徒と大人の地域に対する意識と行動が変化していくことを期待します。	社会教育課	(社会教育課) 地域コーディネーターへの情報提供・共有の機会及びスキルアップに向けた研修機会の設定に努めてまいります。また、後継者の人材発掘及び確保にも取り組んでまいります。

基本方針3 学びをつなぐ学校づくり(原案20～25ページ)

No	委員	意見等	担当	回答等
1	清水委員	施策11(1) 写真等も多く取り入れ、分かりやすく工夫されていると思います。地域への回覧も行われていることを評価します。	学校教育課	学校ホームページは、地域や家庭との連携を深める重要なツールであると考えられることから、今後も学校ごとの特色を生かし、その充実に努めてまいります。
2	朝倉委員	施策11 情報教育の成果を表す場としての活用と、情報の入手のしやすさ、伝わりやすさを考えた発信を期待します。	学校教育課	今後も、学校における教育活動の様子や成果を積極的に発信するとともに、必要な情報を必要なときに容易に入手できるよう、アクセシビリティに配慮した学校ホームページづくりに努めてまいります。
3	清水委員	施策13(3) 児童生徒の登下校時、要所での教員・保護者・地域の皆さんが交通安全指導・声かけに当たっていることで安心感を感じます。	総務企画課	交通安全指導に限らず、今後も児童・生徒が安心して登下校ができるよう、部局横断的に施策に取り組んでまいります。
4	朝倉委員	施策13 情報セキュリティについては、危機管理と同様教職員研修だけでなく定期的な訓練も必要だと考えます。	学校教育課	今現在、「研修・訓練を少なくとも年1回実施すること」としております。今後も引き続き適正な運用に努めてまいります。
5	朝倉委員	施策14 幼保小連携はスタートカリキュラムに関するにとに限らず、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた学びの機会としても互いの交流を図ることが重要だと考えます。	指導主事	幼保小連携協議会の中で、学力向上や生活習慣改善の取組など、スタートカリキュラム以外の観点でも交流を図るようにしていきます。
6	清水委員	施策15 「働き方改革」と「教育効果を向上させる」環境整備に努めていることを評価します。	学校教育課	今後も引き続き環境整備に努めてまいります。
7	朝倉委員	施策15 部活動指導や自主的な研修・授業研究活動などについては、働き方改革の一環として強制的に一律の時間的制限を課すのではなく、教職員個々の働き甲斐や生涯学習の機会も加味しながら納得感のある施策を考えていただくことを期待します。	学校教育課	今後も引き続き環境整備に努めてまいります。
8	高嶋委員	施策15(4):【質問】石狩市では部活動の地域移行に関して議論は行われているのでしょうか？	学校教育課	令和6年1月に「石狩市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する関係機関等協議会」を設置し、以下の内容を協議しているところです。 (1) 学校部活動のあり方及び地域移行等の進め方に関する事項 (2) 学校部活動及び地域クラブ活動の仕組みづくりに関する事項 (3) 学校部活動及び地域クラブ活動の運営方法等に関する事項 (4) 前各号に掲げるもののほか、中学生にとって望ましい運動・スポーツ、文化芸術環境を整えるために必要な事項 <参考:開催実績> ■第1回 令和6年2月21日開催 ■第2回 令和6年8月6日開催

【目標Ⅱ 思いやりと豊かな心・健やかな体をもって、多様な人々と共に支え合う人を育てる】

基本方針4 健やかな成長を促す取組の推進(原案26～32ページ)

No	委員	意見等	担当	回答等
1	清水委員	施策17 自他を大切にす道徳教育の充実発展は集団生活を営む上で重要と考えます。益々の充実を期待します。	指導主事	自他を大切にす教育については、道徳の授業を中心に、全教育活動を通して継続的に取り組んでいきます。

2	清水委員	施策18(2) 調べる学習を通して、関心・意欲・活動の広がりを期待します。	市民図書館	調べる学習を通し、児童生徒の関心や意欲、活動の広がりを後押しすることができるよう、一層の工夫をしながら進めてまいります。
3	朝倉委員	施策18 図書館がメディアセンターとしての機能を果たし、知識をインプットするための場としてだけでなく、市民が試行錯誤したり発信したりすることを促進する拠点となることを期待します。	市民図書館	図書館がメディアセンターとしての機能を果たし、市民の試行錯誤や発信を促進する拠点となるよう、様々な情報を収集し活用できるように努めます。
4	清水委員	施策19(2) 地域の様々な人々との交流や社会体験等の充実が視野の広がりを期待でき、心身の成長につながることを考えます。	社会教育課	放課後の時間を活用し、子ども達は、体験活動を通じて地域ボランティアとふれあうことで、社会性や豊かな心が育まれる「あい風寺子屋教室」を今後も取り組んでまいります。
5	朝倉委員	施策19 子どもたちの興味関心を主体としたプログラムの充実を期待します。	学校教育課	大別すると4つの分野(環境・人権・平和・国際理解)を奨励しておりますが、これに留まらず、学校ごとに創意工夫を凝らした広範な教育プログラムを展開しており、今度も効果的な実施に努めてまいります。
6	高嶋委員	施策19:【意見】「体験活動の推進」の具体的な取り組みが小学生を対象としているようにも感じられるので、中学生を対象としたようなプログラムや機会が創出されると、地域と中学生の一体的な活動につながるのではないかと考えます。	子ども政策課	中学生が利用できる市内4箇所にある児童館では、体験活動(農作物の収穫、調理実習)、創作作業(イラストの作成)、いしかりこどもまつり実行委員会によるこどもまつりに向けた活動など、中学生を対象とした取り組みを行っており、引き続き、幅広い年代が楽しめる体験プログラムを企画していきます。
7	高嶋委員	施策20成果指標No.23:【意見】成果指標の値が小学校(小6)で10ポイント以上上がっており、児童たちが「話し合う活動」の意義を実感できていることを評価します。他学年や中学校にも広く波及していくことを期待します。	指導主事	小学校での対話的な学びを重視した授業の成果について、互いに授業を参観し合う「小中連携の日」などの機会を通じて、中学校とも積極的に共有していきます。
8	清水委員	施策21(1) 集団生活のルール、道徳教育の充実を基本に「いじめ防止」に取り組むことは意義のあることだと考えます。	教育支援課	市内小中学校が取り組んでいる児童生徒が主体となった「いじめ防止」活動を今後も継続して行います。 児童生徒の規範意識を育むための「特別の教科 道徳」はもとより、学校の教育活動全体を通じて、決まりやルールを理解させ守ろうとする態度を身につけさせる指導を行います。
9	朝倉委員	施策21(1) 子どもの権利に関する条例の周知や、それについて継続して学ぶ機会の創出も併せて行っていくことが重要だと考えます。	教育支援課	子どもの権利に関する条例を担当する子育て推進部と連携を図りながら、子どもにとって大切な権利が将来にわたって保障されるようすすめます。
10	朝倉委員	施策21(2) SNS等の適切な利用については学校での指導や家庭への啓発だけでなく、生涯学習の中で市民一人ひとりがメディア利用について学ぶ機会を充実させることが重要だと考えます。	教育支援課 社会教育課	(教育支援課) 市HPに啓発用リーフレットの掲載、国、北海道、市教委からの通知を学校に周知しています。今後も様々な場面において学校、児童生徒、保護者へ周知するとともにスマホの利用の在り方を模索します。 (社会教育課) デジタルデバイドを解消するための講座等を実施してまいります。
11	高嶋委員	施策21(5) 成果指標No.25:【意見】学校復帰やフリースクールなどへと参加が促されたこと自体は評価できますが、その一方で、成果指標に囚われ過ぎずに、児童生徒の声を丁寧に聞き取りながら学校復帰を含めた柔軟な支援が継続されることを期待します。	教育支援課	不登校児童生徒の居場所の在り方について、ふらっとくらぶへの通級、校内教育支援センターの設置の促進や児童生徒に寄り添いながらの柔軟な支援を継続して行います。
12	清水委員	施策23(5) 心身の健全な成長は「食」が基本であることは重要と考えます。	学校給食センター	食育基本法の主旨、及び学校給食実施基準に基づき、児童生徒が必要な栄養素を摂取できるよう努めてまいります。
13	朝倉委員	施策23 生涯学習としての食育が可能となるような施策や環境整備が重要だと考えます。	学校給食センター	食育基本法に基づいた市の計画(食育推進計画)の中で、児童生徒のみならず家庭、地域と幅広い視点を持ち、多様な機関と連携し、食育の充実に取り組んでまいります。

【目標Ⅲ ふるさとへの愛着をもち、幅広い視野で新しい価値を創造し、活躍する人を育てる】

基本方針5 学びを活かす地域社会の実現(原案33～35ページ)

No	委員	意見等	担当	回答等
1	清水委員	ふるさとへの愛着心を持ち、一人一人の興味関心・年齢に応じた学びの場を継続提供することを今後も期待します。	社会教育課	いしかり市民カレッジを中心として、市民との協働によりニーズに応じた学習機会の取り組みを今後も継続してまいります。
2	高嶋委員	施策24(3):地域コーディネーターを含めた社会教育の専門家の力量向上に向けた研修の充実などを通して、学校を含む地域の活性化につながることを期待します。	社会教育課	地域の更なる人材の発掘、また、地域コーディネーターの研修・情報交流、地域と学校がパートナーとして行う連携・協働活動を支援するための研修機会や情報交換の場の提供に今後も取り組んでいきます。

3	朝倉委員	施策25 ソフト面での施策充実を評価する一方、文化活動の更なる推進のために音楽ホール等ハード面の環境整備が重要だと考えます。	社会教育課	文化関連施設の重要性は十分認識しており、市民が質の高い芸術文化に触れる機会や市民自らがさまざまな文化活動を発表したり実践する場の提供に努めてまいります。
---	------	--	-------	--

基本方針6 ふるさとを学ぶ機会の充実(原案36～37ページ)

No	委員	意見等	担当	回答等
1	朝倉委員	施策27 過去、現在、未来と変化する地域を捉えた、バランスの取れた学習機会の充実を期待します。	文化財課	今後もテーマ展、体験講座、野外講座の開催等、ふるさと学習に関する講座の充実努めてまいります。
2	清水委員	施策28 歴史あるふるさと石狩市の文化・自然遺産の成り立ち、今につながる変遷を保護・保存・活用することを大切に受け継いでいくことはふるさとを愛する上でも意義のあることだと考えます。	文化財課	今後も石狩市の文化・自然遺産の保護・保存に努め、その活用を推進してまいります。